

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

クラブ会報委員会

会 場：アドバンテスト

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委 員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

行田クラブハウス

第1928回 最終例会[場所：行田平安閣] (6月23日)

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆さん今晚は！

いよいよ今日で、皆さんの前で会長としての挨拶をするのが最後になりました。もう挨拶の原稿を考えなくて良いという安堵の気持ちと、これまでの例会でよくネタが尽きないで挨拶が出来たとの、ほっとした気持ちが入り交じっております。

年頭初に「【人道的な超私の奉仕に基づく夢の世界の実現】を目指し、会員一人一人の力を結集して友情のもとに培われた内部の活動の力を外への運動と変えていきましょう。」とお願いいたしました。

そのために実り多い例会を目指して、プログラムの充実を図って参りました。一つの叩き台として試したのが、通常例会のスタイルに基づく例会の開催でありました。これは会員の多くが現職を持った人が多くなったことを考慮したつもりでありました。

また例会に興味を持って頂くことを考えシリーズ化を企画し、まず最初にもつくり大学の増淵文男教授にお願いして「水」に関して3回の例会をお願いいたしました。

又、会員の中にそれぞれのスペシャリストがいることに気づき、これからの高齢化社会を生きていく上で避けられない「遺言」、「相続」、「生死学」についてそれぞれ蔭山会員、大久保会員、中島会員にお願いして例会を開催いたしました。

又、郷土博物館にお願いして、「行田の歴史を学ぶ」と題して栗原館長、鈴木学芸員にお願いして3回シリーズで行田の知らなかった歴史などを学びました。

公式訪問例会は、本年度の地区ガバナーの体調を考慮してガバナー公式訪問を各クラブで行わず、そ

の代わり補佐訪問をとということになり、当クラブから出向いたしました諸貴ガバナー補佐に、大変お骨折りを頂くことになってしまいました。その結果、公式訪問はさくら、吹上との3クラブ合同公式訪問例会になり、役目柄当クラブが主管をせざるを得ないことになり、会員の皆様に大変ご協力を頂く事になってしまいました。

またIMについても当クラブで主管するということで、年初の組織図にIM特別委員会を設置し委員会で討議し、第5グループは利根川と荒川に挟まれているということから増淵先生にお願いして「水・まちづくり」と題して講演を頂きました。当日は行田中央小学校の金管バンド演奏が行われ、参加した皆さんに感動を与えることが出来ました。

本年度は特に外に向かったの事業が多く、会員の皆さんに大変ご苦勞をかけてしまいました。

7月に行いました「アジアの子ども達の絵日記展」は、ロータリークラブとしては日本で初めて取り組んだ事業であり、夏休み期間中4177人の来場者があり、当初の目的である識字率の向上運動とアジア地区の紹介が出来たかなと思っております。

またオープニングの時に、本年度も行田市に児童図書をお送りさせていただきました。国際ロータリー創立100周年を記念しての事業であり、昨年度に引き続き行いました。

また、関連して読み聞かせの事業として考えていた講演会を「渡辺雄一さん、平野啓子さんのドラマチックコンサート」として開催することとし、5月28日に教育文化センター「みらい」の会場が立錫の余地もないほどの来場者であふれ、大成功に終わらせることが出来ました。

2月には「行田市スクールバンドフェスティバル」を後援し、産文において開催いたしました。当日は市内外から8校の演奏が行われ、盛大に挙行できました。

また今回で7回目になる白河ロータリークラブと行っております児童交流会は、今月の4日、5日の両日、那須甲子少年自然の家にて開催いたしました。

当日は移動期間中に雨が降って、バスを降りると晴れるという大変ラッキーな日でありました。参加した子供達は自然の緑を満喫して多くの友情と感動、沢山の思い出を得ていたようでありました。

(次頁へつづく)

さらに本年度は国際交流の盛んな年でありました。8月に昨年交換学生としてアメリカに行っておりました田島早希さんが帰国いたし、9月の例会にお出でいただき報告をしていただきました。一年間の海外生活が、田島さんを一回りも二回りも大きくしたようであります。

また本年度は台北城中ロータリークラブとの姉妹クラブ更新の年に当たり、今回は台湾に出向いての更新をして参りました。ソファール会長以下、多数のメンバーの暖かい熱烈歓迎を受け少々とまどいながらも、ゴルフに懇親会にと交流を深め、さらなる強い結びつきを誓い合って参りました。

さらに「日台青年研修会」にロータリークラブ関係者の青年を4名、台湾に2週間送り出しました。それぞれすばらしい青年達で、台湾の青年達と深い友情が出来た様であります。

3月には当クラブで推薦した小山茜さん、田島佐智子さんが試験に合格して、オーストラリアのパスに交換学生で行くことになりました。

そして今年はGSEの交換の年に当たると言うことで3310地区の5名の方々が見えられ、第5グループでは行田が主体となって、4月18日からの1週間お世話をいたしました。なれない海外の方々のお世話に関しては、大変なご協力を頂き改めて御礼申し上げます。



クラブ内の事業も数々ありました。その中でも特に親睦関係では、11月には横浜方面に「グルメとショッピングの一日」とうたって楽しい日帰り旅行が行われました。

又、一泊の親睦旅行は大変すばらしい天気恵まれ、行かれた方には本当に良い思い出が残ったのではないかと思います。

今でも思い出しますが、雪の残った奥穂高連峰、梓川の清流、新緑の緑の美しかったこと、白骨温泉のすばらしい温泉、また帝国ホテルのおいしい食事、そして翌日の美味しいお蕎麦、千尋美術館のすばらしさ、最後に食べきれないと思っていたが食べてしまった美味しいしゃぶしゃぶ、本当に楽しい旅行でありました。

そして今年はいろいろな褒賞、表彰を頂きました。最大の表彰は渡辺栄一会員の「R」超私の奉仕賞」であります。

先週にこの受賞記念例会を開催いたしました、本当に多くの会員にご列席いただき、盛大に開催できました。有難うございました。

個人としては、このほかに佐藤孝太郎会員が地区

大会において「ロータリーに若さを・特別賞」を、又、地区協議会において石塚喜助会員が「奉仕への貢献に対する表彰」を頂きました。

又、クラブとして地区大会で前年度の「会員増強優秀賞」を、また地区協議会では、クラブに与えられるもっとも価値のある「R」意義ある業績賞」と「会員増強第2位」の表彰を、そしてR1会長より「会長賞」を、又、先週には「会員増強推進計画」の表彰を頂くことが出来ました。

そのほか台北城中ロータリークラブと行った日台青年研修会の事業に対して、「双子クラブ」「地域社会プロジェクト」のバナーワッペンを頂きました。

これら全ての表彰に関しては、ひとえに会員の皆様のあたたかいご協力の賜と感謝申し上げます。

この一年、行田ロータリークラブの全てのことに関して多くの会員の皆さんにご協力を頂き、つつがなくこの日を迎えられました。特に親睦委員会の皆さんには例年以上のご苦勞をかけ申し訳ないと思っています。

また私のいたらなさを十分すぎる程補っていただきました島崎幹事さんには何と云っていいか、お礼の言いようありません。奥様には東京にお住まいになっているにもかかわらず、数々の事業にご協力いただきご出席いただきました。

改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、本年度私に頂いたご協力、ご指導を次年度の内山年度にはさらに厚い友情に基づき、さらなるご協力を賜りますよう重ねてお願いいたしまして、一年間の感謝の挨拶にさせていただきます。

本当に有難うございました！

幹事報告 島崎政敏 幹事



黒淵会長の方針でありました「活動から運動へ」「飲み食い優先から事業優先へ」を重点目標とし、事業の質を高めていくことに力を注ぎました。

それには、理事会の充実、理事会資料と議事録の開示。それに事務局機能のアップなど全力で取り組んできました。しかし、まだやり残したことも多くあり、申し訳なく思っております。

—中略—

ともあれ、会長と会員の皆さんにご指導いただき今日の最終例会を無事迎えることができました。一年間本当にありがとうございました。



今年度例会出席率100%の会員17名の表彰が行われました。受賞の皆さん、おめでとうございます。



懇親会は、石塚パスト会長の乾杯ではじまり、華麗な玖珂エレナ・ポップスコンサートを楽しみました。



鴻巣市との合併により、川里町在住の石渡会員が次年度より、鴻巣クラブに移籍することになりました。お別れの挨拶をいただきました。石渡さん、鴻巣クラブでも頑張ってください。





「黒淵年度をふりかえって」と題して、この1年間の様々な行事・事業をスライドやビデオで鑑賞しました。つい、この間のことでしたが、何となく懐かしく感じられました。



続いて今度は演歌ショーです。綺麗な着物に身を包んだ河合ひとみさんの演歌をたっぷり楽しみました。やはり演歌はいいもんですね！



さて、最終例会も終盤へ。
 いよいよ黒淵年度から内山年度へ、感涙のバトンタッチの時がやってきました。黒淵会長・島崎幹事から内山次年度会長・山本(憲)次年度幹事へ、バッジとタスキが引き継がれました。



そして次年度会長・幹事から、黒淵会長・島崎幹事両夫人へ、感謝の花束贈呈、まさに感激の一瞬でした。

この後、内山次年度会長と山本次年度幹事より次年度への力強い抱負を語っていただき次年度への熱い想いが感じられました。

